

令和8年度 第1回学校運営協議会

期日：令和8年5月28日（木）

時間：9:30～11:35

場所：サーモンホール

授業参観 9:30～10:15

- 1 開会行事 10:15～10:25 ※ 進行：担当副校長
 - ア 開会のことば
 - イ 会長挨拶
 - ウ 委員・職員の紹介
- 2 議事 10:25～11:35 ※ 進行：学校運営協議会長
 - ア 令和8年度学校経営について

イ 令和8年度各学部経営方針・学部紹介について

○意見・質問

【B委員】

高等部の数学の授業を見学させていただきました。実際に DORA で販売されている玉ねぎを題材に、自分たちの販売活動をどのように進めていくかを考える学習が行われており、生徒にとって身近な事柄を教材として活用されている点が大変印象的でした。また、数唱の活動では風船を用いたゲーム形式の学習が取り入れられており、様々な工夫を通して意欲的に学べる授業が展開されていると感じました。

私ども崎山中学校は、5月19日の運動会予行練習に参加させていただきました。コロナ禍により一時中断しておりましたが、昨年度から参加を再開することができました。また、これまでも各学年で年に1回ずつ交流活動を実施しており、子どもたちの活動の幅が大きく広がっています。交流活動は、現在行っている教育活動をカリキュラムマネジメントの視点から見直し、教育効果を高めるための大切な取組であると考えております。そのような交流活動を通して、崎山中学校の生徒たちにも大変良い影響を与えていただいております。また、恵風の児童生徒の皆さんにとっても良い刺激となっていれば幸いです。

これからもこのような形で連携を深めながら、より良い教育活動につなげていければと考えております。

ウ 令和7年度進路状況報告

○意見・質問

【A委員】

学校経営計画の取組方針の中で、校長先生から進路保障についてご説明をいただきました。進路指導においては、生徒によって比較的スムーズに進路先が決まる場合もあれば、様々な課題から進路決定に時間を要する場合があります。

そこで、職場見学や現場実習の受入先の確保を含め、現在の課題と今後新たに開拓していく事業所の状況について、実情をお聞きしたいです。

【学校】

進路に関する課題についてですが、一般就労に関しては雇用率の制度があるため、就労の機会は比較的広がりやすい状況にあると考えています。ただ、宮古地区には大規模な企業が多く

ないことから、今後の雇用率の引き上げなどに伴っての受け皿が拡大していくことを期待しております。

福祉サービスの利用については、各事業所に定員が設けられているため、受入れに限りがあります。福祉サービスを希望する卒業生は毎年おりますので、事業所の受入定員と卒業予定者数とのバランスを考慮しながら進路指導を進めていく必要があります。将来の見通しをもって計画的に進路支援を行わなければ、生徒や保護者が希望する進路先の確保が難しくなる場合も出てくることが予想されます。

【A委員】

当事業所においても、介護の向上として、昨年度、支援学校を卒業した生徒を採用しております。現在も大変真面目に仕事に取り組み、一生懸命頑張ってくれています。その姿勢は周囲の職員にも良い影響を与えております。障がいのある方を雇用する側としては、その方の特性や能力に応じた仕事を設定し、働きやすい環境を整えていく努力が必要だと考えております。

意欲をもって頑張っている生徒さんたちには、ぜひ様々な制度を活用しながら一般就労へとつなげていっていただくことを願っております。

エ その他

3 提言

11:05～11:35

【B委員】

昨年、崎山小学校創立 150 周年記念事業において、宮古恵風支援学校の皆さんの恵風太鼓の演奏を聞き、大変感動いたしました。今年度は、小・中学校と恵風支援学校が連携して行う大きな行事は予定されていないと伺っておりますが、ぜひまた恵風太鼓を拝見できる機会を設けていただきたいと思います。

また、本校の教育活動においても、恵風支援学校には地域における特別支援教育の中核的な役割を担っていただいております。大変心強い存在となっております。特別支援教育を進める中では、保護者の皆様にご理解をいただくことが難しい場面もありますが、そのような際には恵風支援学校の先生方にご相談させていただいております。そのおかげで、保護者との連携も円滑に進み、子供たちにとってより良い支援につながっていると感じております。

本校には特別支援教育に関する専門的な知識をもつ教員が多くありませんが、教職員が特別支援教育への理解を深めながら指導に当たることができているのは、日頃から恵風支援学校の先生方にご支援いただいているおかげだと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

【C委員】

今年は宮古恵風支援学校の運動会が平日に開催されました。これまでは地域の小・中学校の運動会と同日の土・日に開催されることが多く、保護者の皆様の中には、どちらに参加するか悩まれる方もいらっしゃいました。その点、今年は日程を調整していただいたことで、多くの方が参加しやすくなったのではないかと思います。

県立学校である宮古恵風支援学校で、義務教育を担う小学部・中学部に在籍する児童生徒の通学保障について、スクールバスを利用して通学している児童生徒もおりますが、乗降場所までの距離が遠いなど、通学の負担が大きいことを理由に、恵風支援学校への進学を断念し、地元の学校を選択するケースもあると伺っています。就学援助などの福祉制度の活用を含め、県や市町村において義務教育の通学保障と支援の在り方をさらに検討していく必要があるのではないかと感じます。

また、最近では AI との向き合い方についても考える機会が増えています。ニュースなどでも話題になっていますが、今は誰もが気軽に AI に質問し、情報を得ることができる時代になりました。一方で、AI が示す情報が常に正しいとは限りません。今後は、子どもたちが AI を活用する力だけでなく、その情報を適切に判断し活用する力を身に付けていくことも重要になるのではないかと考

えています。

最後に進路についてです。一般就労の方が多くおり、大変素晴らしい進路指導の成果だと思いますが、それだけが自立の形ではないと考えています。例えば、自宅で家事や家庭内の役割を担いながら生活することも、本人の自立につながる大切な在り方であると思います。

【D委員】

レインボーネットが宮古恵風支援学校の児童生徒の皆さんと関わる機会は、大きく三つあると考えています。

一つ目は、在学中に各種証明や福祉サービスの利用に関する相談があった場合です。二つ目は、卒業時の進路選択において、障がい福祉サービスの利用を検討する場合です。そして三つ目は、卒業後しばらく経過し、生活や就労など様々な課題を抱えた際に相談機関として関わる場合です。

その中で、私たちが最も大切にしているのは、ご本人の意思に沿った支援を行うことです。障がいのある方々が自分の意思を言葉や言葉以外の表情や態度で表現できるようになると、私たちもより適切で円滑な支援を行うことができると思います。そこで、家族や担任の先生、施設の職員さん方におかれましては、小さい頃から自分の意思や気持ちを表現する力を意識して育てていただきたいと考えております。

【E委員】

私は平成10年から平成15年まで、宮古恵風支援学校の隣にありましたはまゆり学園に勤務しておりました。当時は、宮古養護学校から県立学校へ移行し、高等部が設置された時期でもありました。その頃、はまゆり学園は定員50名に対して利用者が27～28名程度でしたが、高等部の設置後は急速に利用者が増え、定員いっぱいの50名近くとなり、対応に追われたことを今でもよく覚えております。

今回、授業を参観させていただきましたが、これまで恵風支援学校の授業をじっくり見る機会があまりなかったこともあり、大変参考になりました。

また、進路についてですが、現在は一般就労に加え、就労継続支援事業所や生活介護事業所など、多様な進路先が整備されており、本人の状況や希望に応じて選択肢が広がっていると感じています。当時もこのような環境が整っていれば、さらに多くの生徒が自分に合った進路を選択できたのではないかと思います。

私が担当していた高等部の生徒の中にも一般就労した方がおりましたが、その後、景気の影響による会社の倒産を経験したケースがありました。そのとき、一般就労の難しさを改めて感じたことを覚えています。

今後も宮古市として、生徒の皆さんが自分に合った進路を選択していけるように学校や関係機関の皆様と連携しながら協力してまいりたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

【F委員】

私の所属する課では、労働や雇用に関する業務を担当しております。企業を訪問してお話を伺う中で、宮古恵風支援学校を卒業された方々が職場で大変活躍しているという声をいただいております。中には、「障がいのある方としてではなく、就業者として見ている」とお話しされる企業もあり、このような好事例をどのように他の企業へ広げていくかが、今後の大きな課題であると考えています。そのためにも、宮古恵風支援学校の進路担当の先生と、私どもの課のコーディネーターが連携しながら、企業開拓を進めていく必要があると考えております。どうしても「障がい者」という言葉だけで先入観をもたれてしまう場合がありますので、企業の意識改革を進めながら、就労の場を広げていきたいと思っています。

昨年度は、アビリティセンターの皆様と連携し、市内企業への施設内就労として5名の就労につなげることができました。今年度も関係機関の皆様と連携しながら取り組んでまいりたいと思います。

【G委員】

日頃から感じていることですが、先生方は子供たち一人一人の良いところを見つけて、適切に褒

めながら指導されており、その関わり方がとても素晴らしいと感じております。また、根気強く子供たちに向き合い、繰り返し丁寧に指導されている姿にも感銘を受けました。引き続きよろしくお願い致します。

【A委員】

本日の学校運営協議会では、福祉分野を含めた連携の在り方について、今後どのような支援を行っていくべきか、大きな宿題をいただいたと受け止めております。

また、通学路の整備をはじめ、児童生徒が安全で安心して学べる環境作りについて、引き続きご配慮いただきますようお願い申し上げます。

【学校】

今後、今回いただいたご意見をもとに、より良い学校経営に努めてまいりたいと思っております。また、課題も見えてきましたので、職員と皆様と共に考えてまいりたいと思います。今後とも、福祉関係の皆様、そして崎山中学校様と連携させていただきながら、子供たちのために一生懸命取り組んでまいりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

4 閉会のことば